

第 19 回 耐雷設計検討会 議事録（案）

1. 日時 2020 年 2 月 28 日（金）13:30～14:45
2. 場所 リファレンス新有楽町ビル貸会議室 Y201 会議室
3. 出席者（敬称略，順不同）
出席委員：吉沢主査（関西電力），片山副主査（東京電力 HD），清水（中国電力），
穂山（原子力安全推進協会），柏谷（電源開発），郷野（三菱電機），
多田（日本原子力発電），立松（電力中央研究所），田辺（三菱重工業），
福田（日立 GE ニュークリア・エナジー），宮崎（北陸電力），宮原（東北電力），
山崎（北海道電力），行実（東芝エネルギーシステムズ）（14 名）
欠席委員：大平（四国電力），原（九州電力），光岡（中部電力）（3 名）
常時参加：大鋸谷（関西電力），杉山（日立 GE ニュークリア・エナジー）（2 名）
事務局：平野，大村（日本電気協会）（2 名）
4. 配付資料
資料 No.19-1 耐雷設計検討会 委員名簿 2020 年 2 月 28 日現在
資料 No.19-2 第 18 回 耐雷設計検討会 議事録（案）
資料 No.19-3-1 JEAG4608 改定 最終報告コメント管理表
資料 No.19-3-2 JEAG4608「原子力発電所の耐雷指針」改定案に関する書面投票における委員全員の意見(日立 GE EE-OG-C1175 Rev.0)
資料 No.19-3-3 第 19 回 耐雷設計検討会 打合資料（三菱電機 2020/2/26）
資料 No.19-4 JEAG4608 改定 中間報告コメント管理表
資料 No.19-5 原子力発電所の耐雷指針<JEAG4608>（新旧比較表）
資料 No.19-6 原子力発電所の耐雷指針 JEAG4608 改定概要（2020 年 1 月）
資料 No.19-7 規格改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況(令和2年1月20日)
資料 No.19-8 日本電気協会 原子力規格委員会 規格作成手引き（抜粋）
資料 No.19-9 第 19 回 耐雷設計検討会 打合資料（東芝 ESS）
5. 議事
事務局から，本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。
 - (1) 代理出席者の承認
事務局より出席委員数は 14 名で，議案の決議を行うことができる委員総数の 3 分の 2（12 名）以上であることを確認した。また，配付資料の確認があった。
 - (2) 前回議事録の確認
事務局より資料 No.19-2 に基づき，前回議事録の説明があり，承認された。
 - (3) JEAG4608-2007「原子力発電所の耐雷指針」の改定案の書面投票コメント対応について
担当委員より資料 No.19-3～9 に基づき，改定案の書面投票コメント対応の説明があった。議論の結果，資料の一部を修正し上程することで了解された。

(検討内容)

- ・ 書面投票でのコメントの回答を委員に送り，追加コメント資料No.19-3-2及び資料No.19-3-3を併記した資料No.19-3-1によりコメントに対する対応について説明した。
- ・ コメントは合計で31あり，大きく分けると①表記の変更，②記載内容の充実，③計測制御設備等に重大事故等対処設備を追記，がある。
- ・ 電気協会の対応及び追加コメントを反映した形で対応したことを説明した。
- ・ コメントを盛り込んだJEAG4608-202〇と旧規格のJEAG4608-2007との比較をした資料No19-5を使用し，上程予定の規格の変更点を説明した。
- ・ 資料No19-5に6か所の修正を実施した資料で上程する。
- ・ 上程する資料が出来次第メールで送付するので，最終確認をお願いする。

(5) まとめ

本日のコメントを踏まえ改定した資料を使用し，上程することが説明され，特に異論無く，挙手にて決議された。

(6) 今後のスケジュール

- ・ 今後2週間以内を目途に，安全設計分科会長に修正内容を説明し，了解を頂く。
- ・ 3月24日に，三役に対する事前説明を実施。
- ・ 3月30日に実施される第74回原子力規格委員会で，本規格の最終報告を実施する。
- ・ 次回の検討会は原子力規格委員会以降必要に応じ開催する。

以 上